

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第2学年

【単元名】 「目指せ！B（ボール）・M（ムーブ）マスター！」

（A 体づくりの運動遊び イ 多様な動きをつくる運動遊び）（5時間扱い）

*各学期に5時間の小単元を位置付け、年間15時間で構成。

【育成する資質・能力】

〔知識及び運動〕	〔思考力、判断力、表現力等〕	学びに向かう力・人間性等
運動遊びの行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、体を移動したり、用具を操作したり、力試しをしたりすること。	体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。	運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場の安全に気を付けたりすること。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：体のバランス、用具（フラフープ）を操作する運動遊び。（1学期）

働かせる見方・考え方：体を動かす心地よさや、基本的な動きを身に付ける楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適正に応じた多様な関わり方（する・みる・支える・知る）と関連付けること。

段階	学習活動（時間）	留意点
はじめ	1 学習の進め方を知り、学習の見通しをもつ（単元のオリエンテーション）（0.5）	<p>単元の学習の見通しをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 試しの運動遊びを通して児童の動きの様子を捉え、児童の願いやつまづきを整理しながら単元の目標を設定、共有する。
	<p>単元の目標：目指せ！B（ボール*用具の操作）・M（ムーブ*体の移動）マスター！</p>	
なか	<p>なか①の目標：いろいろなボール遊び、ムーブ遊びの行い方を覚えて楽しもう</p> <p>2 ボール遊び、ムーブ遊びの基本的な遊び方を目指した共通課題の追究（2.5）</p> <p>3 中間の振り返りとまとめ（よい動きやコツ）</p>	<p>基礎基本の確実な習得を図る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 他の領域で扱われにくい様々な動きや中・高学年での学習（運動）に必要な基本的な動きをイメージして内容を考える。 ☞ 上手に行うコツを児童の気付きとして取り上げ、具体的な言葉で共有していく。
	<p>なか②の目標：ボールランド・ムーブランドで新しい遊び方を発明しよう！</p> <p>4 新しい遊び方の工夫を目指した個の課題の追究（1.5）</p>	<p>自他の課題解決に向けて協働的に学ぶ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ なか①での学習を生かし、児童の豊かな発想を基に、更に楽しく行うための遊び方を見付けだす（動きの幅を広げる）場を設定する。 ☞ 友達のよい動きを見付けたり真似したり、また、一緒に行ったりするなど、関わり合ったり教え合ったりしながら追究できるようにする。
まとめ	5 単元のまとめ（0.5）	<p>自己の学びや変容を自覚する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 挑戦してできるようになった遊び方や見付けたコツとともに、友との関わり合いのよさなども実感できるようにする。

次単元へのつながり：力試し、用具（なわ）を操作する運動遊びに取り組む。（3学期）